

事務局 それでは、ただ今より令和3年度使用教科用図書採択のための第3回選定委員会を開催いたします。本日の選定委員会の司会・進行を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。それでは、開催にあたりまして、選定委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 【挨拶】

事務局 ありがとうございます。続きまして、本日の資料及び委員会の流れについて事務局より説明させていただきます。配付物の確認をいたします。

- (1) 第3回選定委員会次第
- (2) 第4回選定委員会次第（案）
- (3) 令和3年度使用教科用図書の選定について（答申）（案）
- (4) 市民からの意見書まとめ

資料はそろっておりますでしょうか。

(3)は答申の際に提出する選定具申（案）です。教科書発行者ごとに全者の特長を中心に概要をまとめています。答申の際に選定委員会としての意見となるため、内容についても論議をお願いいたします。第2回及び本日の会のやりとりも踏まえ、加筆修正したものを第4回選定委員会でお示しします。(4)は市民からの意見書の概要です。7月2日現在のものです。協議の資料として取り扱っていただければと考えます。次に本日の流れについてですが、(3)選定具申（案）をもとに事務局より具申内容の説明を行いますので、質疑応答、具申内容の確認をしていただきます。その後、選定委員会としての発行者のご意見をまとめていただきたいと思います。それでは、委員長よろしくをお願いいたします。

委員長 それでは、国語の方から説明をお願いいたします。

#### 【国語】

事務局 各者とも、1年生の教科書をご覧いただきながら、学び方の説明を中心にすすめていきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

最初に、東京書籍についてご説明いたします。96ページをご覧ください。東京書籍では、身近な場面を漫画で描いた「学びの扉」で、課題に気づかせます。230ページをご覧ください。「学びの扉」で課題に気づかせた後に、「学びを支える言葉の力」で基礎力を鍛えます。その後、104ページをご覧ください。「学びを支える言葉の力」で鍛えた基礎力を、次の教材の「言葉の力」で生かし、単元の学習内容に取り組みます。そして、「読む」領域で身に着けた「言葉の力」を、「書く」領域や、「話す・聞く」の領域で生かすという構成にすることで、今の時代に求められる資質、能力を身に付けられるよう工夫されております。また、挿絵や見出しの配色は、全体的に淡く、やわらかくなっており、生徒は落ち着いて取り組むことができます。さらに、1年の前半の教材につきましては、文章量をおさえ、小学校と同じ大きな活字で示すなど、中1ギャップに配慮した内容になっているのも特徴的でございます。

次に三省堂です。76ページをご覧ください。「読み方を学ぼう」や、74ページをご覧ください。「思考の方法」など、国語科の学習のみならず、他教科や社会生活で活用できる「学び方」を学ばせ、その習得した学び方を、見通しをもって自覚をもって活用させることにより、確かな力を身に付けられるよう工夫されております。30ページをご覧ください。また、「話すこと・聞くこと」の領域では、活動の形式を明確にすることで、生徒が目的意識をもって取り組めるように工夫されております。「グループディスカッション」を各学年の第一単元に設け、話し合いを効果的に進めるための「コツ」を学習させることにより、話し合いの質を高める工夫がされています。27ページをご覧ください。新出漢字では、欄外に教材で扱われている漢字を配し、教材の最後で改めてそれらをまとめ、教材で扱われていない熟語を掲載することで知識量も増え、社会での活用能力が育成されるよう工夫されています。

次に教育出版です。18ページをご覧ください。教育出版では、教材の学習に入る前に、「学びナビ」を配置し、読み方や観点、内容を正確に把握するための方法などを提示することで、生徒が見通しをもって、自主的・計画的に学習活動に取り組むことができる構成になっています。新学習指導要領では、「何ができるようになるか」、つまり、「どんな力が身につくか」を求められています。「学びナビ」は、「読み方」から学び始めることにより、汎用的な読む力を形成していく手立てになるよう工夫されています。186ページをご覧ください。また、「学びのチャレンジ」では全国学力・学習状況調査やPISA調査などを踏まえ、これからの社会に求められる読解力・表現力を育成する問題を掲載しているのも特徴的です。

最後に光村図書出版です。28ページをご覧ください。光村図書出版では、学習過程を提示し、重点を置く過程を強調することにより、生徒が見通しをもち、自己調整しながら主体的に学習できるような構成になっています。また、「学習の扉」では、汎用的な読みのポイントを図解とともに示したり、学習で用いる言葉が使用語彙になるよう取り立てて示したりするなどの工夫がされています。214、215ページをご覧ください。「漢字に親しもう」、「文法への扉」では、生徒が漢字や文法に親しみやすいようイラストを効果的に配置しています。また、練習問題も豊富に収録されており、知識の定着を図るための工夫がされています。

ご説明は、以上でございます。

- 委員 光村のSDGsに関連する記載について、具体的にはどこに示されていますか。
- 事務局 3年間幅広く取り扱われていますが、例えば1年生では飢餓をゼロにという観点、安全な水とトイレを世界中に、人や国の不平等をなくそうという観点など幅広く設定されています。2年生、3年生も同様でございます。
- 委員 三省堂の新出漢字が生徒たちにとってわかりやすいとのことですが、三省堂の新出漢字の出し方などが生徒たちにとって1番わかりやすい表記になっているということですか。

- 事務局 先ほどその単元で出たすべてを見ていただきましたが、それ以外にもそれぞれの読み物教材において、出てきたすぐ下にも新出漢字を記載しております。最後にも新出漢字とともに、その単元で習っていない熟語が掲載されており、先生方からも語彙力が豊かになるという意見が出ていました。
- 委員 各者ともに学び方に重きを置いているということに注目して見てみると、話すこと聞くこと、対話的な学習について具体的に書かれているのが三省堂かと思いました。ディスカッション等をしていくことで学びやすいと感じました。
- 委員 学習指導要領が変わる、新しい学び、教育という観点で教科書を見ていました。私の感想は三省堂が考え方を学ぶという感じで、ディスカッションなど主体的に協力して学び合うという姿勢が見られたと思いました。あと光村図書が書く、話すの場面が教材の最後に設定してあったり、環境に関する教材も豊富だなと感じました。
- 委員 個人的には、光村図書と三省堂のページの横に書いてある学習のめあてが見やすいと思います。上と下に分かれていると見にくいので、光村図書と三省堂は隣に書いてあって見やすいと思いました。
- 委員長 三省堂に関する意見が多かったのと、光村図書の良いところも挙げてもらいました。この2者かなといったところでしょうか。
- 全委員 異議なし。

### 【書写】

- 事務局 はじめに、東京書籍について、ご説明いたします。毛筆学習と関連ある文字が、硬筆教材として配置されており、毛筆で学習した技能が硬筆に生かせるようになっております。また、書写で学習した知識や技能が他教科でも生かせるように、「情報を整理した書き方」などの教材を配列することで、書写で学習した知識や技能を他の教科の学習に生かすことができるよう工夫されております。
- 次に、三省堂についてご説明いたします。名言集を取り扱うなど、国語の教科書で取り扱われる文学教材との関連性にも配慮されているとともに、書写に取り組む基本姿勢や用具の準備、筆記具の持ち方や点画に関しても詳細に説明されております。また、教科書のサイズが比較的小さく、毛筆の学習の際などに、使いやすいサイズとなっております。
- 次に、教育出版についてご説明いたします。日常生活に関わる季節の行事や、手紙の書き方などの内容が学習できるようになっており、縦書きだけでなく横書きのノートの書き方についても取り上げられるなど、書写で習得した技能を様々な学習活動や日常生活に生かせるような工夫がされております。43ページをご覧ください。このように、「気づいたことを書こう」という部分が教科書の各所に設けられており、生徒が学習した内容を振り返り、それが言語活動へつながるよう工夫されております。
- 最後に、光村図書出版についてご説明いたします。硬筆学習用のワーク「書写ブック」が取り外して使用できるようになっており、教科書への書き込みに加えて活用し、毛筆、硬筆ともにバランスよく学習することができるよう工夫されております。また、98ページ

【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

ジをご覧ください。ユニバーサルデザインの紹介や活用についても取り上げられており、今後の社会を見据えた指導を行えるような工夫がされております。44ページをご覧ください。QRコードが提示されており、学習内容についてより知識を深められるよう、また、視覚支援や自主学習にもつなげられるように配慮されております。

全者を比べたときに、三省堂と光村図書はサイズが少し小さく、実技を伴う授業の場合は、サイズが小さい方が机の上が整理しやすいという利点があります。サイズが大きい方が、字が大きく見やすいという意見もあります。

委員 サイズ的には小さい方が使いやすいと思います。硬筆の練習ということについては、全者比べるとどのような感じですか。

事務局 別に硬筆のブックを用意している学校もありますが、こういったブックがあると指導しやすいという意見はありました。

委員 光村図書の「身近な文字を探しに行こう」日常の文字を扱って授業する内容がおもしろいなと思いました。教育出版の方は、中学生がどういうときにどういう文字を使えばよいのか、文字の使い方について取り扱っていました。いずれも、文字を書くことが少なくなった時代に、わかりやすい内容になっているなと思いました。

委員 QRコードについてどのように工夫されていますか。

事務局 光村図書と三省堂にQRコードがついています。自主学習にも使えたり、書写の指導が苦手な先生が活用したりできます。指導補助の観点でも、自主学習の観点でも使用できるものとなっています。

委員 生徒の立場になってみると、大きければ大きいほど、机の上が無茶苦茶になってしまう子が出てくる。三省堂と光村図書の方が使いやすいだろうなど。文字だけ見ても興味がわきにくい。特別な方法だけでなく、身近な文字を取り上げている光村図書は、生徒が興味を持つ工夫がされていると感じました。

委員長 光村図書は別綴じも工夫されて、QRコードや教科書の大きさも工夫があるという意見をもらいました。他はよろしいですか。

全委員 異議なし。

【社会（歴史的分野）】

事務局 はじめに、東京書籍についてご説明いたします。目標・内容の取扱い、内容の程度、補充・発展的な学習、人権の取扱い、創意工夫など幅広い観点から見たバランスがよく、取扱いやすくなっています。「チェック&トライ」として基礎的な内容の確認と発展課題が提示されておりますが、これは、単元の目標とリンクさせて単元学習の最後に必ず設けられており、ポイントを明確にして振り返りながら学習内容の定着と深化を図るために活用することができます。また、分野関連マークによって地理的分野・公民的分野との関連がわかりやすく示されているほか、QRコードを通して他教科の教科書にリンクできる点

など教科横断的な学習に役立ちます。

次に、教育出版についてご説明いたします。豊富な資料が見やすくレイアウトされるとともに、見開きページごとに示されるタイトル設定に、生徒の興味・関心を引くための工夫が見られます。また、キーワードを取り上げて自分の考えをまとめ、学習内容を深めるよう課題が設定されています。巻頭をご覧ください。左ページに「伝統や文化財が受け継がれてきたこと」、右ページに「歴史の中で変化が起こってきたこと」が整理された形で紹介されており、興味関心を高めることに加え、歴史の学習を進めていく方向性が示されています。

次に、帝国書院です。時代のまとまりごとに目標が設定され、生徒にわかりやすく明示されています。「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、「学習課題」の振り返りとして、自分自身で確認することと、他者へ伝えるために内容を整理することという両面から学習内容の理解を確かめ、深めることができ、生徒の実態に応じて、活用しやすい構成となっています。

次に、山川出版についてです。他の発行者が扱っていない資料が多く取り扱われ、それらの資料にかかわる記述も多くなっています。それに伴って、学習内容や用語を幅広く扱い、多くの写真資料とともに説明が丁寧に記載されていることから、取り上げ方によって、多様な授業展開が考えられます。また、授業の課題が2つ設定されているテーマもあり、様々な観点で学ぶことができるよう配慮されています。

続いて、日本文教出版についてご説明いたします。単元の冒頭に実物大のものも含めた大きなサイズの資料があることによって、生徒自身が様子について読み取り、気づくことから興味関心を引き出し、単元学習を進めていくことができるよう、構成されています。また、歴史学習の進め方について、生徒のモデルによるセリフや、具体的な資料を使って、歴史の見方・考え方を促すよう工夫されています。地理や公民などとのつながりが多岐にわたっているところも特徴的です。

続きまして、育鵬社についてご説明いたします。目次をご覧ください。授業で取り上げる学習内容に対して、ページ順に時系列で1から86まで通し番号がつけられており、全体的見通しと流れがつかみやすくなっています。各章の始まりに年表がページ上段に配置され、西暦、世紀が時代区分と合わせて表記されているため、時代の流れを把握しやすくなっています。年表を通して必要な用語を確認する基礎基本から、資料を比較・分析して自分の考えをまとめる課題まで、生徒の実態に応じて活用しやすくなっています。

最後に、学び舎についてご説明いたします。はじめに、製本サイズがA4判となっており、ゆとりをもったレイアウトとなっており、丁寧な説明とともに、資料や地図・年表等が大きく掲載されています。また、荘園や村の自治、百姓一揆といった事象についても、民衆の視点から述べられた記述を含め、多角的に説明されており、生徒の見方・考え方を広げることにつなげることができます。

委員 東京書籍の分野関連マーク、具体的に何ページのこの部分というのがあれば教えてください。

事務局 14ページ、15ページをご覧ください。他教科とのリンクやウェブがあるということがわかったら、4ページ、5ページに戻ってQRコードから入ることができます。

委員 歴史の教科書については、いろいろな方面から注目を集めています。全て文部科学省の検定を通っているものですが、扱われている資料数や難易度にも差があると思います。山

川出版などは資料も多く使われ、内容が難しいものも含まれています。バランスのとれているものは？

事務局 バランスというところで見ると、調査員の報告の中では東京書籍がよいということでした。山川出版の内容については、深く学べるようにできてはいるのですが、授業を進めていく上でどう扱うかについては、調査員の中で賛否あるところもあります。

委員 各発行者、歴史以外にも地理、公民、地図と出しているんですけども、他のものと発行者がバラバラでも授業に差し支えないものなののでしょうか。

事務局 各分野を関連付けて学習することは大切ですが、分野ごとに発行者が違うことでの支障は無いと認識しております。

委員 主体的な学びを進めていく中で、帝国書院は、前の時代の背景がわかって、違いはなんだろうと説明が求められています。全体を見通して説明が求められるところなど、新しい教科書だなと感じました。

委員 歴史や公民に対してはたくさんご意見いただいておりますが、この点についてはどうなんですか。

事務局 歴史的事象について、様々な視点から偏りなく取り扱われているかどうかということは、調査員も見ている、話し合いの中で取り上げています。バランスという意味では、東京書籍かなという意見でした。

委員長 歴史については、難しいところもありますけれども、バランスがとれているというのは、重視すべきことかなと思います。次回、引き続き検討しましょう。

全委員 異議なし。

### 【社会（地理的分野）】

事務局 まず、東京書籍についてです。教科書の巻頭、巻頭3のところ、「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」の5つのテーマを提示しており、現代的な諸課題を意識しながら学習を進めることができる構成になっております。また、各節末や章末に思考ツールを使った振り返りやまとめの活動が多く掲載されており、例えば31ページにありますような、ベン図というものを使ったものや、131ページにありますくらげチャートと言われる思考ツールを使ったものがあり、考えがまとまりにくい生徒の手助けや学習内容の補完に役立ちます。また、この思考ツールにより生徒の思考が可視化されやすいため、「思考力・判断力・表現力」の観点において評価材料の参考となります。それ以外にも、地理学習の基礎的な知識・技能を形態的に習得できる「スキルアップ」という項目が充実しており、その中で、適宜演習等を設けることで、学習に必要な技能を確実に定着できるような工夫がされていること、また、141ページより始まる第3編第1章「地域調査の手法」という単元では、「インターネットの活用」や「統計資料を活用したグラフの活用」、「聞き取り調査」等の方法を丁寧に示し、調査を「情報を集

める」から「発表する」まで体系的な配列で提示されており、生徒の思考力・判断力・表現力が高められるよう工夫されています。

次に、教育出版についてです。教育出版では、第2編第2章「世界の諸地域」、第3編第3章「日本の諸地域」それぞれの世界と日本のところで、「地域から世界を考えよう」、「現代日本の課題を考えよう」などの特設ページがあります。例えば、「地域から世界を考えよう」では、90ページにありますように「アフリカの歩みと課題」というような、アフリカ民族の言語等についての特設ページ、また、「現代日本の課題を考えよう」では、例えば214ページに「林業と持続可能な未来」というような形で特設ページがあり、現代の世界・日本の課題から地理の学習課題を深めるためのトピックが掲載されているため、生徒の学習内容をより一層深めることができます。また、学習コラムとして「地理の窓」や「地理の技」があり、生徒の興味関心を広げ、学習をさらに深めることや、地図及びグラフの読み取り等の地理的技能の向上をねらった工夫がなされています。実際のものの一覧については、5ページに載っております。また、先ほど紹介させていただきました、アフリカ民族の話であったり、その他の様々な項目において、「人権尊重の精神」に基づき、差別や人権確立の歴史、人権をめぐる現状と課題についての考察を通して、全ての人の権利が守られる、差別のない「ともに生きる・ともに創る」社会の実現を迫る力が養われるよう配慮されており、世界の様々な民族・文化・社会との関わりを通して、多様な価値観や文化に対する理解と寛容を育むことができるようになっております。

次に、帝国書院についてです。帝国書院では、巻頭の5ページ6ページにありますように、持続可能な社会をつくるために参考となる各地域の取組を紹介したコラムに、「SDGs」のロゴマークをつけており、現在および将来の社会が直面する課題について解決するため、自ら取り組む意識を育むことができるような工夫がされています。例えば、69ページ「ベネツィアが沈む」というコラムのところに「SDGs」の円形のロゴマークが付けられています。また、171ページの九州地方の地図のように、地域の特色が概観でき、親しみのあるイラスト地図や写真資料、章・節ごとの単元を貫く問い、具体的な事例をもとにした因果関係がわかる本文、そして章末・節末の最後の「章（節）の学習を振り返ろう」のように、単元が構造化されており、見通しを持って、学習を進め、振り返りによりさらに学習を深めるような単元学習が確実に実践できるよう工夫されています。先ほど紹介させていただきました「未来に向けて」というコラムや序説「学ぶにあたって」において、生徒が主体的に取り組むための工夫がされており、「確認しよう」での基礎的・基本的な知識の習得や、「説明しよう」での思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動など、対話的な活動・学習を展開できるようになっています。そして、各章末の振り返りで、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題が設けられており、生徒が単元に対して深い学びを迫ることができるようになっております。そのため、教科書全体を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実践できるようになっています。最後に、何度も紹介されております「未来に向けて」というコラムにおいて、アパルトヘイトの問題や、フェアトレード、近畿地方の在日韓国・朝鮮人の問題、関東地方の渡日ブラジル人など、多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿が具体的に上げられております。

最後に、日本文教出版についてです。日本文教出版では、巻頭の7ページに様々ありますように、地域的特色の理解に必要な教材が系統的に配置されており、また、「地理プラスα」「自由研究」などコラムや特設ページによって、地理的な話題や学習内容が、具体的な事例とともに紹介されており、生徒の学びが補完できるような構成となっております。また、267ページにありますように、第3編第4章「地域の在り方」では、地域調査を行う「自然と防災班」の調査を例にしながら、視覚障がい者施設の人の話を取り入れるこ

## 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

とで、バリアフリーの視点についても大切に紹介されています。そして、巻頭7にありますように、「トライ」・「スキルUP」・「アクティビティ」・「チャレンジ地理」など、思考力・判断力・表現力などの向上を図るコラムが掲載されており、生徒の学習を補充できる内容も充実しております。

以上で、社会・地理的分野の4発行者の説明を終わります。

- 委員 各発行者とも、現代の課題というところの取扱いがされているということですが、生徒が学びを深めていく、生徒にとって興味をもって課題を考えていくという意味では、帝国書院が1番工夫されており、使いやすいんじゃないかなという風に思います。
- 委員 ページの下の方に小学校とか、歴史公民との関連が載っているのが、帝国書院、教育出版かなと思います。地理歴史公民、小学校の勉強と関連しているということがわかると、分野を超えた学びにつながるのではないかと思います。
- 委員 帝国書院さんは写真が鮮やかですね。SDGsもわかりやすい。
- 委員長 帝国書院の意見が多く出ましたので、そのあたりで絞っていきたいと思います。
- 全委員 異議なし。

## 【地図】

- 事務局 まずはじめに、東京書籍、帝国書院ともに、地図の活用方法、地図と関連する資料ページの提示など、生徒の地図活用、主体的な学びを支援する工夫がみられます。また、インターネットで活用できるデジタル教材が用意されており、ICTを活用した学習や自宅での学習の学びの支援となる効果が期待できます。その他の内容について、各者の特徴として、まず、東京書籍については、キャラクターによる資料の解説が、地図の読み取りの技能の向上に効果が期待できます。また、SDGsを取り上げ、貧困、難民問題等の世界の諸課題についての興味・関心を高め、理解を深めることができるようになっています。次に、歴史的・公民的な学習と関連づける資料が豊富です。北極と南極も含めた縦向きの地図によって、地球儀の代わりに大陸を傍観することができるようになっています。
- 次に、帝国書院については、世界の生活、文化や各州の特色を示した地図を設けることで、他国の理解と異文化の尊重を促すことができるようになっています。また、地図活用という「問い」が多く設定されており、資料活用の技能の向上、地理的な考察を促進させることができるようになっています。また、日本各地の防災の資料が充実しており、自然災害や防災への取組について考えることができるようになっています。次に、歴史上の出来事の位置などを解説する資料によって、歴史的な学習と関連づけることができるようになっています。さらに、大判化によって閲覧できる地図の範囲が広がり、地域のつながりが捉えやすくなっています。また、日本の世界遺産をはじめとする歴史的遺産や吹田市の施設について、比較的詳細な情報が掲載されています。
- 委員 先ほどから少し話題になっているのが、他の分野との連携という点で、どちらも地理の教科書がありますが、一緒の発行者の方がよいということはありませんか。

### 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

- 事務局 東京書籍は、ジャンプというものが設定されていて、関連する資料を示しているのですが、特に同じ会社のものでないと機能しないということはないと考えています。帝国書院についても、東京書籍ほど数が多いわけではありませんが、その他参考にしてほしいときには必要に応じて拡大した地図等が載っていて、特に発行者が同じでないといけないということではないと思います。
- 委員 デジタル教材の利用について、防災関係では帝国書院で扱っているようですが、東京書籍はどうですか。
- 事務局 東京書籍のデジタル教材は今現在開発中とのことです。デジタル教材のメインとなるのは白地図や関連する資料になります。
- 委員 地図は単純に大きい方が見やすいと思います。
- 委員 帝国書院は文化が入っていておもしろいなと思います。地図活用についても問いかけがあるのがおもしろいです。実際どれだけ授業で活用されるのかについてはどうですか。
- 事務局 帝国書院の方については、問いがたくさん用意されていることも確認しておりますので、学習での課題にも活用しやすいのかなと、その分頻度も高まるかもしれません。
- 委員長 帝国書院は大きさも大きく、ページごとにQRコードもあったり、吹田の記載もあったりするということですので、推していきたいと思います。よろしいですか。
- 全委員 異議なし。

### 【社会（公民的分野）】

- 事務局 はじめに、東京書籍についてです。資料が大きく、写真も豊富に掲載され、視覚的な情報を得ながら学習を進めることができるよう、工夫されております。「みんなでチャレンジ」では「自由」についてグループで話し合いながら考えを深める学習に活用できる内容が取り扱われており、「公民にアクセス」というコラムで、主体的・対話的で深い学びの実現につながる工夫がされております。ハンセン病や性の多様性、インクルージョン、在日外国人への理解など具体例を数多く記述するとともに、インターネットと人権や国際社会の中の人権上の課題についても様々な例を挙げ取り上げており、現代的な人権や国際平和に関する学習の充実をはかることができる内容となっています。また、国民主権についても詳しく記述され、選挙で投票する以外の政治への参加方法も示すなど「主権者教育」についても記載されております。

次に、教育出版です。集団的自衛権など、平和主義の考え方や自衛隊について、多面的・多角的に考察できるよう、賛否両論が公平に取り上げられています。「人権尊重」について、人々の努力で勝ち取られてきたものや、我が国が抱えている人権課題について多面的に扱い、識字学級、LGBTについてなど具体的な事象を多く取り上げ、さらに深く考えることができるよう配慮された内容となっております。身近な暮らしから学習に入り、日本国内での暮らしを学習した後、世界の事柄を学ぶといったように、視野を広げるような配列になっております。ディベート・シミュレーション・プレゼンテーション・レポート作

成などのワーク「言葉で伝え合おう」や、グループワーク学習に使えるテーマが設定された「公民の技」などが適所に配置され、主体的・対話的な学びの広がり期待できます。

次に、帝国書院です。各章のはじめに、「学習の前に」のページが設けられ、町や店、地域などを俯瞰したイラストを見ての問いかけから始まり、わかりやすい導入となっております。また「アクティブ公民」で、「マンションの騒音問題」など具体的な問題の解決に向けて考えることができるよう工夫されているほか、「技能をみがく」では、ロールプレイングだけでなく、ディベートなど、様々なワークを示し、問題解決に向けた対話的な学びが実現できるよう、配慮されております。写真が大きく、資料が見やすくなっております。

日本文教出版についてご説明いたします。アクティビティ等で具体的な事象をもとに、読み取りや問いかけなどのワークを示し、授業の内容を深められるような工夫がされております。章末の「学習の整理と活用」では、その章で使用された用語をまとめ、図と関連付けながら語句の意味を説明し、学習の定着に役立つようになっております。人権の保障については、「情報化と人権」で、「ネット社会」の便利さや問題点についてわかりやすく説明され、現代的な人権課題についても国内外を問わず、幅広く取り上げられております。

続きまして、自由社についてです。「課題の探求」として「レポートと卒業論文をつくらう」や「ディベートをやってみよう」「ディベートの実践例」などが掲載されております。論文の形式を使用したまとめ方を示すほか、ディベートに関して、どのように意見したり発問したりすればよいのかわかりやすく示されており、考えをまとめ、対話的な学習を実践することができるよう工夫されております。全部で7章からなっており、特に経済の単元は、消費者についての内容が後半に示される等、独自の順で配列されております。

最後に育鵬社についてです。「学習を深めよう」では、部落差別やハンセン病などの国内の具体的な人権問題等を取り上げていることに加え、これからの国際社会を生きる生徒が考えなければならない世界的な課題に関する資料が挙げられております。また、その中に「トライ」というコーナーが設けられ、それぞれの資料についてグループワークや調べ学習などで、さらに深く取り組むことができるようになっております。各章のはじめは「〇〇の入り口」という内容の導入となっており、各章の終わりは「これからの〇〇」というように、これからの社会の展望が示される構成となっております。また、章末の「学習のまとめ」では、重要語句のチェック欄と、重要語句をまとめた図や問いかけが示されており、復習やまとめに役立つ工夫もされております。

以上でございます。

委員 確認ですが、公民の分野に関しても政治的な関心も高い。教育出版が多面的、多角的に考察できるとのことですが、そのあたりのバランスが1番取れているのが教育出版ということになりますか。

事務局 そうですね。賛否両論の意見を取り入れ、公平性が担保されているとの調査結果です。

委員 教育出版は、他の教科や小学校、SDGsとの関連性が記載されていて良いと思いました。

委員 多数決の部分に着目して、これはこういうものですよ…ではなく、自分で考えてみるものがしやすい文章になっているなど思ったのが教育出版でした。帝国書院についてもやはり新しい教科書だなと感じていますし、SDGsや人権に力を入れていると思いました。

委員長 ご意見で出ていたのは、調査員の意見でも出ていた教育出版が使いやすいかなど。最後に話題になっていた帝国書院も工夫されています。このあたりで考えていきましょうか。

全委員 異議なし。

### 【数学】

事務局 まず、東京書籍についてご説明いたします。はじめに、第1学年の教科書をご覧ください。導入に、物を作るときの必要な材料について考えるなど、日常生活に関係のある内容が示されており、実際に考えたり、活動したりできるようになっています。第1学年には、0章が設定されており、小学校からの連携に配慮することで、つまづきをなくすよう工夫されています。次に、第3学年の教科書「学びをひろげよう」では、実社会で数学が活用されている場面を紹介し、数学の有用性を伝えています。この後の発行者につきましては第3学年の教科書を使ってご説明いたします。

大日本図書についてご説明いたします。「たしかめよう」というコーナーを設け、学習内容を復習する問題を取り扱い、ただの計算問題だけでなく「活用・探求」「学びにプラス」「力を伸ばそう」で発展的な問題を取り扱うなど、生徒の理解度・定着度に応じて様々な課題に取り組めるように配慮されています。導入では、イラストや写真から考えたり、ゲーム形式で考えたりすることによって、関心を持たせて学習にとりくみやすくなるよう工夫されています。各領域に「社会にリンク」というインタビュー記事が提示され、数学を学ぶことの良さを実感できるよう工夫されています。

つづきまして、学校図書についてです。高校数学の架け橋では、高校の内容に触れることにより、今後の数学の有用性を実感する工夫がされています。巻頭のコラム「数学の力」で、数学の力を活用している人を取り上げており、キャリア教育の視点で数学を捉えられるようになっていきます。既習の内容が、他の教科でも役立っていることがわかるように示されており、教科横断的に学習を進めることができるよう配慮されています。

教育出版についてです。單元ごとに「めあて」が明確に記されており、学習している内容や身に付けるべき力を意識しやすいように作られています。折り込みを効果的に使い、数学的な見方・考え方の一覧がどのページを学習している時にも確認できるよう工夫されているとともに、各ページの側注には考え方や着眼点が掲載されているだけでなく、生徒が考えたことを書き込むことができるスペースがどのページにも設けられ、生徒がどのような考え方をすればよいのか、主体的に考えながら学習を進め、自身が考えたことを振り返ることができるような構成となっております。また「学びのマップ」で既習事項と第3学年の各章での学習内容とのつながりが示され、復習しやすくなっています。

続きまして、啓林館についてご説明いたします。各章の導入で、日常にある題材や実生活と数学のつながりを感じながら学習に取り組み、例題から少しずつ段階を追って考え方の基礎が定着するよう工夫されています。「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっているところが特徴的です。後ろから開いた「自分から学ぼう編」では、身の周りの現象を題材とした問題や、他教科と関連付けた総合問題に取り組める内容があり、主体的に課題を発見し、解決する力を育むよう工夫されています。

数研出版についてです。特徴として、別冊の「探求ノート」で数学的な見方・考え方を育むよう工夫されており、高校の内容にも触れるような発展的内容を通して、知識だけではなく問題解決力を高めることができるようになっていきます。また、各章、既習内容について振り返ることができるようになっており、新たな学習内容に取り組みやすく配慮され

## 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

ております。数学旅行では数学の有用性をみつけ、他教科とのつながりについても理解できるようにになっています。

最後に、日本文教出版についてご説明いたします。各章の導入では写真や歴史などから学びの必然性を紹介し、活動を入れながら、関心を持たせる工夫をしています。単元の最後には、必ず生徒が学習内容について説明するような問いがあり、知識のみでなく数学的思考力や、表現力をつけることができるように設定されています。「数学を仕事に生かす」で仕事や日常生活に数学がどう活用されているか紹介されており、生徒の興味・関心を高め、学習意欲の向上につなげるための工夫がされています。

委員 小中連携について特に意識しているのは、どこの発行者になりますか。

事務局 東京書籍、大日本図書、教育出版の第1学年の学習内容は、正負の数から始まらずに、数字のところから始まっており、小学校から中学校へのスムーズな移行のため、配列が工夫されています。

委員 教育出版の学びのマップがわかりやすくまとめられていて、イラストであったり色づかいであったり工夫されていて、わからなくなったときの振り返りに役立つものだと思います。これは教育出版の特徴ですか。

事務局 そうですね。意見交流会でも先生方に好評でした。前年度までの学習もまとめられているので、便利に活用できるとのことでした。

委員 グループワークとか、単元によってしやすい、しにくいがあると思うのですが、どの発行者がグループワークをやりやすくなっていますか。

事務局 各者とも様々な活動を取り入れ、話し合いの場面を設定しやすいよう工夫されています。

委員 啓林館の2部構成が素敵だなと思いました。

委員長 意見で出ていたのは「教育出版」です。「教育出版」を中心に検討を進めてよろしいですか。

全委員 異議なし。

## 【理科】

事務局 東京書籍です。「レッツスタート」や「Before & After」等、生徒自身が考え、主体性を高められるような活動が設定されています。「Before & After」では、生徒が学習した結果、自らの成長を実感でき、学ぶ意味や必要性を感じられるように工夫されています。教科書の判型がスリムなことが特徴のひとつで、探求の過程や観察・実験のページにおいて流れが見やすくなっています。また、図や挿絵、写真も大きく掲載されており、意欲関心を引き出しながら学習に取り組むことができるつくりとなっています。現在吹田市で採用している啓林館の教科書より横幅はそのまま縦に40mm大きくなって

います。これにより、例えば1年生の教科書177ページの実験のようにページが変わることなく縦に手順が表記できています。一方で紙の軽量化により全体として同者の現行のものと比較して14%重量減となっています。

大日本図書です。実験・観察においては冒頭に「目的」と「着眼点」が明示されており、何のために実験を行うか、事象をとおして何を学ぶかを理解したうえで、取り組める構成となっています。各単元冒頭に、関連するダイナミックな写真や図を大きく提示しながら、その単元において「これまでに学習したこと」「これから学習すること」が併記されており、すべての生徒にとって見通しをもって学習できる工夫がされています。探求の過程の中で各学年重視することがマークで示されています。1年では自然事象から問題を見出すこと、2年生では解決する方法の立案と、結果の分析解釈、3年生では探求の過程の振り返りやそのアウトプットを意識できるようなマーク付けがされています。

学校図書です。「なぜ理科を学ぶの？」や、随所「資料」のマークがついた日常と関連させた事項を設け、学習する意義を感じ自然に対する興味関心を高める工夫がされています。各単元の導入に、「学びのあしあと」として既習事項について説明させる項目が設定されており、教員及び生徒自身が既習事項についての定着の具合を図ることができるようになっています。単元毎の「Can-Do-List」という項目において、新学習指導料等の3観点に基づき評価する際に、その単元において具体的にどのような力をつけることを目標としているかを明確に示しています。「どのように学びに向かうか」「どのような知識・技能を身につけるか」「理解していることをどのように使うか」という形で各章に例示しています。生徒は身につけるべき資質・能力を理解し意識したうえで学習に取り組めるようになっています。また、その単元末には例えば同じく1年生のp59のように自己チェックできるような工夫がされています。

教育出版です。巻頭で「探求の進め方」に対応させる形での巻末の「自由研究の紹介」や、学年全体に関わる資料として、巻末に「校外の施設を活用しよう」・「基礎技能」「理科で使う算数・数学」等、各単元での学習の幅をひろげる工夫がされています。例えば、2年生の教科書の5ページのように1～3年の各学年において巻頭に「探求の進め方」を配置し、これから中学校では探究活動をどのように進めていけばよいかを示しています。これに対応する形で「自由研究の紹介」として、様々な実験やそれにかかわるキーワード、教科書において該当する箇所が示されています。各単元末の「要点と重要語句の整理」では、要点や重要用語を太字で目立つ色、図等でまとめてあり、基礎基本の定着、自宅での復習で活用しやすい構成となっています。

啓林館です。各単元の導入時にインパクトのある写真とともに、「学ぶ前にトライ」として、身の回りの疑問を考えさせる設問があります。またその単元の学習後に「学んだ後にリトライ」として、学習の前後で同じ設問を行うことにより、学習を振り返り、生徒自身が学びの深まりを実感できるような工夫がされています。「探Q実験」という項目の実験が、各分野で設定されており、その項目の実験は、生徒が自らの考えをもって活動しやすい実験が取り上げられており、また、冒頭にその探求例が示されています。さらに付属の探Qシートを活用することにより、「課題」・「仮設」・「計画」・「結果」・「考察」を順序立ててまとめることを学ぶことができ、生徒が主体的に実験や観察に取り組みやすいような工夫がされています。さらに、単元末の「みんなの探Qクラブ」では、身の周りの疑問に対して、その単元で習得した知識や技能等を統合して、探求の過程に沿って原理や法則などを探求できるような実験例が多く掲載されています。巻末に付随している探Qシートと併用することにより、探求の過程を自由に書き込み主体的に考え

## 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

らえられるような工夫がされています。また、裏面には探Qラボとして探求をサポートするようなツールやQRコードが設けられていて誰もが探求的に学べるようなつくりとなっています。気を付けたい実験操作、薬品の取り扱いなど、3年間共通して必要となる注意が紹介されています。また、観察・実験を進めるうえで注意が必要な個所には、注意文や安全のためのマークが記載されており、視覚的にわかりやすい構成となっています。

委員 今の説明で探求というところに力を入れて工夫をしているのが、啓林館と教育出版だと思うのですが、それは他の発行者に比べて、特に重きを置いているということでしょうか。

事務局 探求という意味では、その2者、特に啓林館が力を入れているという調査結果です。また、大日本図書でも、実験の前に目的や着眼点を提示することで、こういう視点で実験に取り組むのかと意識して探究活動に取り組むことができるので、今挙げた発行者も含めて、探求活動にしっかり取り組めるものとなっております。

委員 コラム等で科学者の紹介があるかと思うのですが、吉野彰さんはまだ入っていないですか。

事務局 入っておりません。

委員 東京書籍のデザインがおもしろいなと思いました。見ていて理科に興味をわく、身近な題材を取り上げているなと思いました。1年生が特に、自分の近くにあるものと科学が結び付いているので、興味をもつことができると思います。

委員長 東京書籍と啓林館でしぼっていく形でいかがですか。

全委員 異議なし。

## 【音楽（一般）】

事務局 教育出版社についてご説明いたします。音楽のおくりもの1の巻頭をご覧ください。このように、取り扱われている曲の情景の写真が多く掲載されております。また、巻末には楽器などの写真が多く掲載されており、生徒がより具体的なイメージを持ちながら学ぶことができるよう工夫されております。すべての学年で「話し合おう」が設定されており、曲の構成などについて、具体的に交流する視点が示され、対話的で深い学びを促すつくりになっております。鑑賞でシューベルトの「魔王」を扱うページでは、初めに歌詞の要約を掲載し、生徒が話の内容の理解をしやすいう工夫されております。また、その他の曲では、楽譜をたくさん掲載し曲の特徴をとらえやすいように工夫されております。巻頭にシューベルトの楽曲に対する思いが掲載されておりますが、2・3年の上・下とも、その教科書で取り扱う曲の作曲者の自分作品に対する思いが掲載されており生徒の興味関心を高め、学びを深めるための工夫がされております。君が代については、3学年とも、歌詞・楽譜に加えて、歌詞の大意と細石の写真が掲載されており、歌詞の意味を生徒が理解できるよう工夫されております。

続いて教育芸術者についてご説明いたします。「歌舞伎」を取り扱うページにおいて、

## 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

見開きページ上半分に、歌舞伎の舞台の写真を掲載しております。ポピュラー音楽を扱うページにおいては、資料としてCDジャケットの写真をわかりやすく配置しています。このように、生徒がより具体的なイメージを持ち学習に取り組めるよう、写真等を効果的に掲載しております。深めよう音楽では、対話的な学習が行えるよう、話し合う具体的な視点が示されております。また、曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションに取り組むよう設定されており、主体的で対話的な深い学びにつながるよう工夫されております。また、2・3年の下の巻頭では作曲家等の芸術家が芸術に対する思いが掲載されており、先人たちの音楽に対する思いを知ることで、生涯にわたり音楽に親しむ心情を育むことができるよう工夫されております。各ページの左に音楽を形づくっている要素が示されていることで、生徒が教材ごとに何を学習するのかわかりやすくなっております。鑑賞では、生徒に耳なじみのある、映画ジョーズから「ジョーズのテーマ」が取り扱われるなど、生徒の興味関心を高めるための工夫がされています。合唱曲の掲載が豊富で、3年間で24曲が取り扱われております。発達段階や学級の特性に応じた幅広い選曲が可能となります。君が代につきましては「国歌・国旗と国際的儀礼」として、歌詞・楽譜・歌詞の大意に加えて、オリンピックで国歌が斉唱される場面の写真が掲載されております。全学年で中学生に身近なスポーツの国際試合の写真を掲載し「君が代」への興味関心を高めるとともに、他国の国歌や国旗についても尊重する態度が養われるよう工夫されております。

委員 教育出版の学びソングや学びリンクは、どのような取扱いですか。

事務局 目次をご覧くださいと、アクティブだと活動例のページ、そのテーマについて発展的な学習のページになっていたり、学びリンクのQRコードを読み込んでいただくと、模範演奏、説明が流れるようになっております。

委員 教育芸術社にはありますか。

事務局 教育芸術社につきましては、各ページにQRコードがあります。

委員 調査員からの報告の中で、教育芸術社の製本方法が譜面台に置きやすいように配慮されているのが、とても良いと印象を持っているのですが、やはり大切なことですか。

事務局 譜面台に置きやすいというのは、学習の中でとても大きなことだと思います。楽譜に意識を取られることなく演奏できます。

委員長 2者ともに良いところが意見として出ているかと思うのですが、委員の意見にもあったように置きやすさは1つポイントになるのではないかと思います。次回、引き続き検討しましょう。

全委員 異議なし。

## 【音楽（器楽）】

事務局 音楽（器楽）につきましては、2つの発行者がございますが、両者とも、新学習指導要領に基づき、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されております。

また、ユニバーサルデザインのフォントを用い、多くの写真やイラストをわかりやすく配置するなど、視覚的にも配慮されたものとなっております。

各者の特長についてご説明いたします。教育出版は、掲載曲が豊富であるとともに、楽器や音の特徴を比較しながらとらえ、それぞれの良さに生徒が気づくことができるよう配慮されております。授業で使用する多くのリコーダーにつきましては、生徒が楽しみながらスモールステップで技能を身に付けることができるよう配列されております。また、二重奏の曲が多く掲載されており、生徒がハーモニーの豊かさやアンサンブルの楽しさを体験することができます。「まなびリンク」という記載がある教材については、QRコードを読み取ることで、動画や音声データの使用が可能となり、生徒の自主的な学習を促すよう工夫されております。日本の伝統音楽や和楽器についても適切に取り上げられており、各楽器が作られた背景や歴史、当時の文化などについてわかりやすく解説されています。また、各楽器の演奏家からのメッセージを通して、音楽に関わる姿勢について、生徒が触れることができます。

続いて教育芸術社の特長についてご説明いたします。新学習指導要領に示された目指す資質・能力のうち、(1)知識及び技能(2)思考力、判断力、表現力について、どの教材を通して学習することが目標になるのかを明確に示し、生徒と授業者がめあてを共有しながら学習を進めることができるよう配慮されております。リコーダーにつきましては、小学校で使用していたソプラノリコーダーから、アルトリコーダーへの移行がスムーズにできるよう配慮され、演奏しやすい音域から段階的に指遣いを覚えて演奏できるよう、難易度にそって曲が配列されております。二重奏曲をはじめ、多くのアンサンブル曲が掲載されているとともに、Q&A やコラムを設けて、音の合わせ方や音色についても生徒がよく聴き合い、工夫しながらハーモニーを作ることができるような内容となっております。和楽器については、各楽器の奏法とともに、日本音楽の演奏形態についてもまとめられており、鑑賞教材等と関連付けて学習できるような配列となっております。また、裏表紙に「教科書にこめた願い」として「音楽のよさや美しさを感じるとともに、生活や社会・文化などの関わりについて興味・関心が広がっていくことを願っています」と書かれているように、全体的に、演奏者の言葉やメッセージを通して生徒が音楽に様々な角度から興味・関心をもって取り組むことができるよう工夫されたつくりとなっております。

委員 教育芸術社のソプラノリコーダーからアルトリコーダーへの移行が、スムーズにできるようになっていて、違いが一目瞭然でわかるのはいいなと思います。

委員 社会科でもあったのですが、先生にとって音楽一般と器楽が同じ発行者の方がやりやすいということはありませんか。

事務局 現在、採択されているものは、違うものが使われています。その前の採択時は同じ発行者のものでした。音楽については学習指導要領に共通教材として、必ず取り扱う教材が定められており、それについては両者とも取り扱っていますので、どちらの教科書でも問題ありません。

委員長 教育芸術社の意見が出ていましたが、2者ですので、次回また考えましょう。

全委員 異議なし。

## 【美術】

事務局 各者、人権尊重を踏まえた作品が取り扱われており、誰もが使いやすい、形・色・機能を考えたデザインとしてユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく配慮しております。また、どの発行者についても学習指導要領で示されている三つの柱を忠実にわかりやすく教科書として形にしているものでした。それでは、各者の特長について説明いたします。

まずは開隆堂出版です。開隆堂の特徴について、2・3年の教科書を使って説明いたします。美術の歴史や伝統文化を尊重しており、5つの題材を14ページにわたって掲載するなど、美術文化を次世代へと受け継ぎ理解を深めていけるよう配慮されています。用具の使用に関して、学びの資料を設定し、「安全」マークで示すことで、用具の使い方や配慮すべき内容について、安全に作業できるように配慮されています。各ページの左上をご覧ください。色のついた部分がございます。『絵や彫刻』『デザイン』といった、領域を記載するなど、生徒の発達段階や連続性に考慮した課題を設定し、1年生の題材を、2年生では発展的に進められるよう配慮されています。生徒が作品の理解を深め、イメージを把握しやすいよう、写真・図版・説明語句等がバランスよく構成されております。記載されているQRコードを読み取ると、ウェブサイトにて、教科用図書掲載作品と関連する美術館などのホームページへ入ることができます。「他教科とのつながり」マークをつけ、教科横断的な視点のある課題を具体的に示しております。

次に光村図書出版です。光村図書出版について、2・3年の教科書を使って説明いたします。地域と美術のつながり、というページを設けています。学校や地域の身近な題材が紹介され、美術の学習で学んだ力を社会に向けて表現していけるよう配慮されています。美術作品、写真における肖像権や知的財産権への配慮が、注意喚起のマークとともに知らされています。また、自己や他者のよさを思いやる題材や作品の取り扱いになっております。各題材に生徒の興味・関心を喚起するような例示もあり、独自の表現に対する意欲を高める内容になっております。13ページをご覧ください。トレーシングペーパーを使用し、書き込みながら鑑賞ができるよう工夫されています。また、実際の絵画に近い風合いの紙を使用し、現実に近い鑑賞ができるようになっているページもあります。QRコードを読み取ると、美術作品や生徒作品などを豊富にみることができ、描き方など、作品制作の手順などが示され資料となるよう工夫されています。

続いて日本文教出版です。日本文教出版について、まずは2・3年下の教科書を使って説明いたします。生活の中で作品を使用する様子を取り上げられています。生徒が自己の思いを身近な暮らしの中で見つけ、豊かにするために「飾る」「伝える」「使う」などの目的や機能をもった表現ができるよう配慮されています。49ページをご覧ください。原寸大で作品を紹介しております。伝統的な工芸作品の制作過程や作品の良さを知り、理解が深まるよう大きな図版で示し、バランスよく配慮されています。「ゲルニカ」のような平和についての作品だけでなく、東日本大震災をテーマにした現代作家の作品を取り上げるなど、平和や国際理解などの人権尊重の観点を踏まえた作品が幅広く取り扱われています。ここからは1年生の教科書を使ってご説明いたします。他の2者とは異なり、3冊構成となっており、学年別に、美術との出会いから学びの探求へと広がり示すことで、生徒自らが制作のヒントを見つけ、主体的に学習できるように工夫されています。各地域、各時代などに偏りがなく、図版や写真の大きさやレイアウトなど構成に工夫がみられます。屏風など実際に折って現実に近い視点で観ることができるため再現性が高く、よりリアリテ

## 【令和3年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

イーをもって鑑賞できるように工夫されています。QRコードが多数ついており、ウェブサイトにて学習をより深める導入や動画、360度自由に見られる再現性の高い画像、豊富で分かりやすい道具の使い方など授業の補助的な資料として使いやすいよう工夫されています。道徳の学習に関連した題材には緑の文字とマークを付け、また、他教科にも結び付けられる学習を取り上げるなど、教科横断的な視点のある課題を具体的に示しています。

委員 視覚に配慮が必要な生徒に対する配慮、困らない工夫などはありますか。

事務局 各者ともフォントのユニバーサルデザインと同じく、カラーユニバーサルデザインを取り入れております。

委員 日本文教出版が3冊、2、3年生が上下2冊になっていますが、教える側としては、2年生で上、3年生で下みたいな使い方になりますか？

事務局 教科書を区切るというよりは、単元によって使い分けができるという使い方になると思います。題材がそれぞれの学年に連動していますので、単純に2年生で上、3年生で下といったものにはならないと思います。

委員長 調査報告の中では、日本文教出版の良さが出ていましたが、甲乙つけがたいですね。次回、決めていきたいと思います。

全委員 異議なし。

## 【保健体育】

事務局 まずは東京書籍です。章の扉では、小学校で学習したこと、高校で学習することが簡潔に示され、また、道徳との関連性も明記されているため、関連付けた学習がしやすくなっております。性の多様性について考える資料も取り上げており、人権への配慮がなされています。目次にはコンテンツ内容の一覧があり、インターネット学習に活用しやすくなっております。QRコードも利便性が良く、視覚的にも学びやすいコンテンツが豊富です。学習課題がキーワードとともに単元ごとに設定されているので課題の解決に向けた学習展開がしやすくなっております。「リンクマーク」については、わかりやすいマークで、関連ページや他教科との関連が豊富に示されております。

次に大日本図書です。「つかもう」「話し合ってみよう」などの、自他の課題に向けた取り組みが行えるよう具体的に各項目で課題が示されています。また、「リンク」マーク、「他教科」マークで、関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりが示されています。章末に重要語句をまとめて内容も含めて書いてあるため自分で勉強しやすくなっております。

次に大修館書店です。章のトビラでは、学習することが示されており、小中高の関連も示されています。また、これまでの経験などに沿うような課題が設定されており、「課題をつかむ」では、6ページのようにこれまでの経験で意見を出し合ったり、48ページのようにこれまでの学習を思い出しながら振り返ったりすることができるよう、課題が設定されています。関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりについては、「関

連」マーク、「他教科」マークで示されています。

次に学研教育みらいです。小学校での学習事項、高等学校での発展した学習を明記し、中学校での学習目標が明記されております。「課題をつかむ」、「考える・調べる」や「まとめる・深める」では、身の回りや普段の生活を手掛かりとして、学習課題や健康課題に気づくことができるようになっております。また「課題をつかむ」では、事例をもとにするなど、課題発見、解決に向けての工夫がなされています。43ページをご覧ください。性的マイノリティーの表記があり、人権への配慮がなされています。各資料のイラストが見やすく、効果的な運動について考える資料など、内容の理解を助けるものとなっています。関連した内容を学習するページや他の教科とのつながりについては、「関連」マークで示されております。

委員 調査員の報告にもあったように、東京書籍の本文が真ん中になっていて、両サイドに資料があるので見やすいとのことでしたが、確かにそうだなと思います。

委員 調査報告書には4者とも、小学校、高校とのつながりや教科の横断的なもの等、取り扱っています。インターネット学習や課題解決に活用しやすい、学習展開がしやすい等については、東京書籍が特徴的と捉えていいのでしょうか。

事務局 確かに東京書籍は、例えば、学習課題については見やすいところに提示され、マーク等を使いながら関連性についてもわかりやすいように工夫されています。

委員 学研の教科書ですが、写真が多くて色もはっきりしていて、1番いいなと思いました。探求的な声かけがあったり、自分のことを書いたり、考えて調べる内容があって、主体的な学習ができるのではないかと思います。

委員長 学研は前回の調査報告でも使いやすいという意見が出ていました。この場では、東京書籍がよいかという意見が出ています。この2者でしぼっていきたいと思います。

全委員 異議なし。

### 【技術・家庭（技術分野）】

事務局 まず、東京書籍です。全体的に、「考える、調べる、話し合いしたりする学習活動を促している」（活動マーク）や「学習した内容に関して、知識を深めるための内容や情報の追記」（資料）の箇所が非常に多く、全体的に、「主体的、対話的で深い学び」に力点が置かれています。学習の中で主体的に調べ、グループで比較、検討したりするために発問を設け、深い学びの実現のために「活動」マークで見やすくし、さらに、39ページのように各編の2章には右上に「問題解決カード」を新設して、「問題の発見、課題の設定、解決」をどのように進めていくか、わかりやすく示し、自分から問題解決に取り組むことができるように工夫しています。今求められている所でもある情報の技術では、情報モラルの扱い、情報セキュリティの順で学習を行っています。情報モラルを扱い、道徳と結びつけながら、インターネットなど情報技術のプラス面、マイナス面など考えられるように、情報モラルの学習内容が充実しています。生徒の興味・関心を引くように、分野の最初にDマーク（QRコード）が用意されており、動画やシミュレーションなどがあり、新しい

ものづくりやこれからの時代のキーワードのことを多く取り上げられています。後ろのページでは、SDGsのページが用意されており、17のゴールを目指し、技術分野で学習したことを生かし、持続可能な未来のために自分がどのようなことができるか考え自分なりに考えていくことができるようにしています。

次に教育図書です。全体的に言語活動を促している箇所が非常に多くなっています。「やってみよう」では技術について調べる活動、考えさせる活動を通して、主体的で対話的な学びができ、まとめをグループで発表し合うことで対話的な活動を通して自らの振り返り、深い学びにつなげることができるようになっていきます。実習の基礎技能を「技術ハンドブック」として別冊にまとめられており生徒が理解しやすく、技能の定着がしやすいように工夫していることや作業手順や工具の安全な使用を示し、事故防止への配慮やプログラミングを体験しながら基本操作を載せており、迷いを軽減し身につけさせることができます。また、各編のワークシートを切り取り式にするなど工夫されており、実習と基礎基本の習得やまとめを同時並行で取り扱いやすく、実習の授業でも見返しやすいようになっています。

最後に、開隆堂です。全体的に環境との関わりを取り扱っている箇所が多く、ガイダンスやそれぞれの学習中や最後などに取り扱い、学習活動や生活の中で環境と共生を大切にする実践的態度が身につけられるように配慮されています。また、学習指導要領の技術分野の目標にある「技術の見方・考え方を働かせること」に力点を置いており、身近なことや身近な問題を取り入れ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする関心・意欲を引き出し、自ら問題を見つけ、課題を設定して解決を図る力を身につけられるように工夫しています。実習を行う際、実験の写真を用いており、QRコードを使いその都度、動画で科学的な根拠・法則を知るとともに、計画・設計し、基本的な技術・技能の仕組みを学べるように実験や調べ学習などを取り入れています。また、生徒目線から撮影されている写真や、図版・イラスト等が多数掲載されており、生徒が見やすく、理解しやすいようになっております。

委員 東京書籍の説明のときに、問題解決カードがわかりやすいとありました。他の発行者も問題解決の手順を入れ込んでいるけれども、1番理解しやすい、考え方がわかりやすいのは東京書籍かなと思いました。

委員長 東京書籍をあげていくことでいいですか。

全委員 異議なし。

### 【技術・家庭（家庭分野）】

事務局 「東京書籍」につきましては、思考ツールを活用することで、対話を助けて協働を促し、深い学びにつながるよう工夫されています。防災教育や安全教育を丁寧に取りあげ、「防災マーク」や巻末の付録に「防災・減災手帳」を設けるなど、生徒の意識を高められるよう工夫されています。調理実習や布を用いた物の製作実習の中で、題材別に工夫例として「私のオリジナル」を掲載しており、生徒の生活に合わせた工夫のヒントになっています。脚注に「生活メモ」が設けられており、生徒が楽しく読めるようなコラム、学習内容を深化できる内容が取り上げられ、楽しみながら頁をめくり学習が進められるよう工夫されています。

「教育図書」につきましては、各節の最初に発問があり、自ら課題を見つけ主体的に学

習に取り組めるよう配慮がなされています。様々な人と助け合い生活をしていく上で大切なことには「共生マーク」を示し、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮されています。「家族・家庭生活」「住生活」の分野では、中学生が親しみをもって学習できるように漫画やアニメを題材に用いる工夫が施されています。布を用いた製作では「私のアレンジ」「材料を工夫してみよう」などで、工夫例を数多く示すなど日常生活にいかす様々な工夫に気づき、実践しようとする態度の育成に配慮されています。

「開隆堂出版」につきましては、教科書全体を通して①主体的、②対話的、③深い学びのプロセスで学習を進め、課題解決に向けて取り組みやすくなるよう配慮されています。現代社会の課題であるSDGsが教科書全体を通して豊富に掲載されています。特に、各学習のまとまりの最終頁にSDGsの目標と関連させて考える課題を設け、生徒の意識を高め、実生活につなげられるよう工夫しています。食物アレルギーについて、アレルギー物質を含む食材、代替食材、アナフィラキシーなどを詳しく取りあげ、生徒への注意喚起と安全管理および事故防止について配慮されています。性の多様性を理解するためにLGBTについても掲載し、ジェンダーの視点から制服を取りあげ、共に生きる生活を創造していく力が育めるよう構成されています。各内容の端にQRコードがついており、これを活用するとすべての実習題材の手順や調理や製作・補修の基礎技能等を動画で見ることができ、基礎的・基本的な技能を確認することができるようになっています。

委員 開隆堂のレシピのところに、アレルギー物質を黄色くしているというところ、視覚的にもわかりやすいですし、他の発行者と比べても、調理実習のところが見やすいなと思いました。

委員 私も、料理を作っている人から見ても、実用的だと思ったのが、開隆堂でした。あと、おもしろいなと思ったのが、東京書籍の消費生活、買い物についての考え方も新しいし、おもしろいなと思いました。

委員長 東京書籍の意見も出ていますが、開隆堂が見やすいかなといった感じですね。

全委員 異議なし。

#### 【英語】

事務局 まずは東京書籍です。ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意しております。1年生の教科書にあります「友達の紹介スピーチ」や、3年生の教科書にあります「町中の手助け」といった相手意識を持ってコミュニケーションを行ったり、協力し合ったりする心を育む内容があります。また、全学年を通して、既習事項をスパイラルに学習できる構成になっています。「学び方コーナー」を3年間で系統的に取り上げ、英語の学習のポイントやコツを学べるよう工夫しています。

次に開隆堂出版です。2年生79ページ、なりたい自分について語る内容や3年生の手話を取り扱った題材等、多様性を認める内容となっています。また、2年生の巻末に動詞カードやQandA、和文英文の対比を示すなど、家庭学習にも活用できるよう配慮されています。また、学校生活の1コマを題材にし、コミュニケーションを重視した親しみやすい内容になっています。

次に三省堂です。身近な題材を使用し、使える英語を身に付けることができるような内

容となっています。1年生では、小学校で学んだ学習内容をスムーズに使えるよう、自己紹介から、他己紹介といった内容を取り扱い、1人称から3人称の学習に移行させています。また1年生97ページをご覧ください。こちらにあるように、日本文化を紹介するとともに、69ページのイギリス文化についての内容を取り扱う等、多様な国の文化を取り上げ、国際理解が深められるよう、工夫されています。

次に教育出版です。3年生をご覧ください。こちらの **Word List** において、既習単語が分類されており、各単元で身につけたパフォーマンス力を活かす一助となっています。また、日本文化と海外文化について触れる内容を扱っており、3年生では教科書全般を通じてディベートを行うことを意識した構成になっており、実際にディベートを行う内容も取り扱っております。また、教科書の冒頭にある **QR** コードを読み取ることで、教科書の内容をまとめて把握できるよう工夫されています。

次に光村図書出版です。1年生をご覧ください。中学生のストーリーを通じて、身の回りのことから社会や世界のことへと学習を進めることで幅広い知識と教養が身に付けられるようになっていきます。また、それぞれのページの左側には、ヘッドフォンや吹き出し、ペン等のマークが、それぞれ「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」、どの技能の言語活動を行うかを表しており、言語活動をバランスよく配置しています。

次に啓林館です。どの学年とも、ほぼすべての単元が会話文で構成されており、授業中の会話を促しやすい構成となっております。また、文法事項は現行の指導要領に沿っており、これまで高等学校で学習してきた仮定法等の、あらたな文法事項は3年生の終盤に用意されています。また92ページをご覧ください。**Further Study** では、英文の要約や、まとまった量の作文等、発展的な活動ができるよう工夫されています。

委員 啓林館で文法についてお話されたんですけど、文法配列の各学年の順番が大事だと思っています。教科書が変わるということは、大きなことだと思うのですが、その中で生徒にも教員にも無理がない発行者はどれになりますか。

事務局 発行者によって配列は様々でございます。今まで3年生で学習していた現在完了形が2年生に前倒しされていたりとか、受け身形などが3年生に配置されていたりしている発行者もあるのですが、現行のものに添った負担のないものというのは、東京書籍、啓林館になっております。

委員 教科書が変わると単語も変化があると思います。教科書によって2年生でやっていたことが2年生で習わなくなったとかもあり、教科書が変わるたびに英語の教員はとても大変な思いをします。調査報告書の中でも今回、現行のものと違う発行者が良いのかなというのを感じたのですが、先生方の意見としても、それも含めて変えていく方がよいということなのでしょうか。

事務局 非常に扱いやすい内容となっており、文法配列にせよ、単語にせよ、またサイズの的にも使いやすいのではないかとご意見をいただいております。

委員長 東京書籍の教科書は大きいですね。教科書が変わることで、継続して学習することが難しくなるといったことがないように、そのあたりはまた考えていただく必要がありますね。今回は東京書籍と啓林館を推していく形でよいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

## 【特別の教科 道徳】

事務局 はじめに、東京書籍について、ご説明いたします。中学生を主人公とした学校生活における具体的な事柄、悩みや葛藤を描いた教材が多く、自分のこととして主体的に考えることができるようになっていきます。各学年2つずつ「アクション」というページが設定されています。ここでは、1番の「～について話し合っている場面を演じましょう」のように、教材文の一場面を役割演技することで、授業を生活に結び付け、他者と対話的に話し合いながら考えることができます。教材の内容を自分のこととして捉え、考えを深めていくことで、道徳的価値の理解をより深めることができるようになっていきます。

続きまして、教育出版についてご説明いたします。もくじをご覧ください。「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について深く考えることができる教材には、それぞれ紺と緑のマークが付けられており、生徒がより意識してテーマに取り組めるよう工夫されています。また、水色や緑色で囲まれた部分はこれらを深く考える教材を複数組み合わせたユニット構成になっています。いじめを直接取り扱った教材、いじめや差別を許さない心の育成を間接的に支える教材など、コラムページも組み合わせで多様な視点から深められるようになっていきます。各教材の終わりには「学びの道しるべ」が設定されており、何をどのように考え、話し合っていくのか、学習の流れが分かりやすく示されています。この三つの問いを連携させて、人間としての在り方について考え、深い学びに繋げられるよう工夫されています。

続きまして、光村図書出版についてご説明いたします。「言葉の向こうに」というSNSを扱った教材や「紙芝居」といった部活動での出来事を扱った教材など、中学生にとって身近に考えられる教材が多く、自分のこととして深く考えられるようになっていきます。また、「いじめを許さない心について考える」というユニットのテーマは、毎学年取り上げられており、グループでの話し合いなどを取り入れた「深めたいむ」の活動と合わせて取り組むことで、より深く考えることができるよう取り扱われております。また、現代社会の課題を環境・国際理解・共生の3つに分け、共生のテーマの中で福祉や国際問題、性についてなど教材が幅広く取り上げられています。タイトルの下にQRコードがついている教材が多く、学習に役立つWEBサイトを見ることができます。また、QRコードを使うことで、生徒自身が自分で学習を深めることができる助けとなっています。教材の最後には、人が「働く」理由とは、どういうものだろうなど教材をとおして何を学ぶのかを意識できるよう目当てが明示されています。その下に示されている「見方をかえて」や「つなげよう」では、主となる発問とは切り口を変えた問いを設定し、学んだことを日常生活と関連付けて、様々な視点から考えたり新しい発見や考え方を見つけて深く心に留められるように工夫されています。

続きまして日本文教出版についてご説明いたします。もくじをご覧ください。いじめと向き合う①②③のようにいじめに関する教材を1年間の間に複数配置してあり、日常生活でも起こり得るいじめの事例を取り上げた教材に加え、「トマトとメロン」といった個性を大切にすることを学ぶ教材など、いじめに間接的に関わる教材も組み合わせ、視野を広げて考えられるように構成されています。また、教科書の最後に挟んである別冊道徳ノートをご覧ください。自分の意見記入欄と友達の意見記入欄が左右に並べられていることで自分と友達の考えを対比して考えられる工夫がされています。

次は学研教育みらいについてご説明いたします。写真、挿絵、グラフなど視覚的に訴え

る資料が多く、広義的な内容で、現代的なテーマも多く扱われており、生徒の内容理解がより促されるよう工夫されています。また、それぞれの教材にテーマやポイントが細かく設定されていないことで、生徒がテーマに縛られたり先入観を持ったりすることなく、多面的・多角的に取り扱うことができる内容となっております。各教材の終わりには「深めよう」という教材をもとに考えを深める特設ページが設けられており、4つのステップ「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方に繋げよう」が提示されており、授業が段階的に展開されるよう工夫されています。

廣済堂あかつきについてご説明いたします。他者との関係を踏まえ、よりよく生きるためにはどうすればよいか、を考えることができるような構成となっております。「生命」「いじめ」に関する項目についてもバランスよく設定されるとともに、情報モラルに関する教材も、各学年に複数盛り込まれております。教材の最後に考えを広げる発問があり、多面的・多角的に考えやすいような学習の手立てが設定されております。また、別冊の「道徳ノート」をご覧ください。とてもシンプルな作りになっており、「心に残っている授業の記録」や「学習を振り返って」という欄を活用しながら、自分の変化や成長を実感することができるよう工夫されています。

最後に日本教科書についてご説明いたします。学習指導要領に記されている内容項目の順に教材が配置されており、各学校の特色や方針、生徒の実態に応じて学習する順番を決めて、学びが深められるようになっております。また、1年間を通して、いじめに関する教材が複数配置されており、道徳的に思考するだけでなく、いじめに関する知識についてのコラムなども盛り込まれており、いじめに対する見方や考え方を育むことができるよう、配慮されております。「もっと知りたい」というページが設定されており、教材にかかわる様々な情報が記載されています。道徳的価値についての視野を広げ、新しい見方、考え方を生み出すことができるよう工夫されています。

委員 今、吹田の使っている教科書は光村図書で2年目ですが、内容的には何か変わっていますか。教員としては、まだ2年目ということもあり、変えない方が使いやすいのではないのでしょうか。

事務局 内容的には特に大きな変更はありません。

委員 小学校の道徳の教科書の選定のときにも変えてほしくないという意見があったと思うのですが、中学校でもそのような意見が出たのではないのでしょうか。

事務局 意見交流会では、まだ2年目ということで、引き続き使いたいという意見もありました。

委員 光村図書のユニットのテーマのところは、わかりやすくいいなと思いました。1年生だったら、ここやって…とか、教員にとってもわかりやすく、単発で終わるのではなくシリーズで考えていくと、深い学びにつながるのではないかと思います。

委員 光村図書を見たときに、アンガーマネジメントみたいなものが載っていて、保護者目線で、今の子はすごいことを学べるんだなど、心理学を学ぶような時間があるのはすごいなと思いました。

委員長 聞いてもらったように、委員さんからも光村の意見、現場の先生方からも使って2年で

変わってほしくないというのも貴重な意見かと思えます。それでは、光村図書出版を推していく方向でよろしいですか。

全 委 員 異議なし。

事 務 局 ありがとうございます。それでは答申案の2点目、4点目について、ご説明いたします。本日の答申案の1枚目、鑑をご覧ください。今、答申案の1番、令和3年度使用教科用図書中学校用種目についてご協議いただきました。2番についてですが、こちらも併せて答申するというので、その案を別表2に掲載しております。学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について、以下別表2のとおり採択することが望ましいと考えます。諮問の時にもご説明いたしましたとおり、学校教育法附則第9条に規定される教科書というのは、小・中学校で言えば、いわゆる支援学級で特別の教育課程を実施しており、所定の学年の検定教科書を使用することが適切でない場合、この附則第9条に基づいて採択することができる教科用図書のことで、その採択について、以下のことを答申します、という内容になっております。吹田市におきましては、従来より、障がいのある児童生徒の社会参画や自立を実現させる観点に立ち、可能な限り全ての児童生徒が、「共に学び、共に育つ」教育を推進しており、支援学級に在籍する児童生徒と通常学級に在籍する児童生徒との様々な交流を大切にしてきました。従いまして、支援学級に在籍する児童生徒につきましても、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第3条の対象として、通常学級の児童生徒と同じ「検定教科書」を採択し、附則第9条に規定される教科用図書については、採択しないことが望ましいと考えます。しかしながら、これまで、弱視児童生徒のために、検定教科書の文字や図形を拡大等して複製し、一般図書として発行する場合、弱視の児童生徒に無償給付する措置がとられてきました。従いまして、対象の児童生徒の教育条件の改善に資するため、「拡大教科書」を附則第9条に基づき採択することが望ましいと考えます。なお、各種目の「拡大教科書」につきましても、令和3年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したものとします。というような文言を入れた形で答申案を立てたのですが、いかがでしょうか。参考までに、ここに述べている法律については、こういう形で表記されているということも載せさせていただいております。

事 務 局 長時間ありがとうございました。それでは、次回の委員会についての説明を申し上げます。次回7月13日（月）15時から第4回選定委員会をさくす三番館4階中会議室にて行います。本日の協議内容をもとに、加筆修正された答申書（案）を確認いただき、その後、教育委員会に答申する運びになります。委員長より事務局に手交していただきます。第4回選定委員会にて皆様の選定委員としての役割は終了でございます。この後は、選定委員会からの答申を受けて教育委員会にて各種目1者を採択いたします。前回お渡ししました「調査報告書」並びに本日の資料として配付いたしました「具申書（案）」の取扱いにつきましては、どちらも7月13日の第4回の選定委員会で返却いただきますが、それまでの間、教科書内容の研究・検討にご活用いただくとともに厳重に保管いただきますようお願いいたします。

